



延世大学校附属中央図書館と 国際交流協定締結



握手を交わす金館長(左)と親川館長



記念撮影

本学附属図書館は、7月6日(木)に延世(ヨンセイ)大学校附属中央図書館(大韓民国)との間で国際交流協定を締結しました。

延世大学校から金 泰樹(キム・テス)館長以下2名の関係者が本学を訪問し、附属図書館関係者の立ち会いのもと、金館長と親川兼勇館長が協定書に署名を行い、国際交流協定が締結されました。

延世大学校は、法学、社会科学、工学など19学部、法学、経済学、工学など18大学院研究科及び129附属研究機関を擁する、1885年に創立された韓国で最も歴史ある大規模総合大学であり、研究の高度化を積極的に推進し、世界各国の大学機関と広範な学問分野で共同研究を実施し、多大な成果を上げています。

今回の国際交流協定の締結により、学術的な結びつきの拡大、学術協力の強化、学術情報の国際流通の促進を図る協力体制の整備などとともに、国際的な学術コミュニケーションに関する研究開発がますます進むものと期待されます。

今後は、延世大学校附属中央図書館との間で図書館司書の交流、共同研究の実施、ワークショップ、展示会の開催、学術情報の交換等を活発に行っていく予定です。

調印式終了後には、互いの大学の概要説明が行われた後、今後の活動等について活発な意見交換が行われました。

(附属図書館情報サービス課)

目次

- | | | | |
|---|-----------------------------|---|-----------------|
| 1 | 延世大学校附属中央図書館と国際交流協定締結 | 6 | 図書館所蔵貴重資料の紹介 |
| 2 | 矢内原忠雄文庫植民地関係資料データベースの公開について | 7 | 図書館トピックス |
| 3 | 機関リポジトリについて | 7 | 図書館見学者 |
| 3 | 読書論文コンクールについて | 7 | 当館資料の放送取材・刊行物掲載 |
| 4 | ILL(学外からの取り寄せ)の依頼方法 | 7 | 貴重書展開催 |
| 5 | 2005年度新収蔵沖繩関係資料の紹介 | 8 | お知らせ |

矢内原忠雄文庫植民地関係資料データベースの公開について

1 琉球大学附属図書館は、日本学術振興会より平成17年度科学研究費補助金(研究成果公開促進費)の交付を受け、電子化に取り組んできた「矢内原忠雄文庫植民地関係資料データベース」の完成に伴いWebサイト上に正式公開し、7月13日に各関係者をご招待しプレス説明会・レセプションを行ないました。



プレス説明会

2 矢内原忠雄文庫植民地関係資料データベースとは

本データベースは、本学が所蔵する矢内原忠雄文庫のうち、南洋群島を軸とした植民地関係の原資料群を画像化し、これにインデックス等を付し、検索を可能とするとともに、インターネット上で閲覧できるようにしたものです(平成17年度科学研究費補助金(研究成果公開促進費)による画像データベースの構築事業)。

矢内原忠雄文庫は、故・矢内原忠雄元東京大学総長の御子息矢内原勝氏から1987年(昭和62年)と1995年(平成7年)の2度にわたり、本学へ寄贈された矢内原教授の蔵書、自筆原稿及びノート類を収めたものです。本文庫の特徴は、日本の植民地研究の第一人者で、国際関係論の先駆である矢内原教授の植民地研究の根幹となった原資料群が多く収められていることにあります。その大半は、植民地時代の台湾、朝鮮、満州、南洋群島へ、矢内原教授本人が訪れ、自ら踏査収集したものであり、各統治機関が作成した刊行物、未刊行資料、内部資料、そして矢内原教授が作成した聞き取り調査資料、調査・研究ノート、統計、自筆原稿、メモ類等といった「生」の資料です。なかでも沖縄から多くの移民を送り出し、戦前期在住日本人の約6割を沖縄出身者で占めていた南洋群島に関わる資料は、量的、質的にも突出し、沖縄からの南洋移民研究に欠くことのできない資料です。これらは、現存する植民地関係資料として重要なばかりでなく、矢内原教授の植民政策研究を理解する資料としても貴重なものといえます。矢内原忠雄文庫植民地関係資料の画像データベースを広く公開することによって、貴重な原資料群の保存はもとより、関係する研究分野への貢献、利用の拡大に寄与することを願うものです。



来賓挨拶(レセプション)

(なお、矢内原忠雄教授の御子息には、今回の矢内原文庫を寄贈された、慶應義塾大学名誉教授(元作新学院大学長)の故矢内原勝氏のほか、法政大学名誉教授で著名な詩人故矢内原伊作氏がおられます。)

3 矢内原忠雄教授と沖縄について

矢内原忠雄教授(1893年(明治26年)～1961年(昭和36年))は、東京大学総長在任中の1957年(昭和32年)1月16日から20日までの5日間、琉球大学と沖縄教職員会の招きで沖縄を訪れ、その間、琉球大学を含め各地で7回の講演をされました。当時、講演会を聴講していた人々は矢内原総長のお話に勇気づけられたといい、その中の数名は後に研究者となり、今般の矢内原文庫設置の大きなきっかけとなりました。

(注) 矢内原忠雄総長の沖縄講演旅行(昭和32年1月16日～20日)

| | |
|------------|-------------------------------|
| 1月16日午後2時 | 琉球大学にて「世界・沖縄・琉球大学」 |
| 1月17日午後1時半 | 那覇市における沖縄第三次教研中央集会にて「教育の基本問題」 |
| 1月18日午後2時 | コザ中学校にて「戦後の教育理念」 |
| 1月19日午前 | 屋我地・愛楽園にて「愛について」 |
| 1月19日午後2時 | 名護中学校にて「民族の復興と教育」 |
| 1月19日午後8時 | 那覇商業高等学校にて「世界の平和と人の数」 |
| 1月20日午前10時 | 首里教会にて「平和の福音」 |

(矢内原忠雄『矢内原忠雄全集第23巻 満州・朝鮮・沖縄』岩波書店, 1965, pp.357-509)

4 矢内原忠雄文庫植民地関係資料データベースURL

<http://manwe.lib.u-ryukyu.ac.jp/yanaihara/>

機関リポジトリについて

次世代学術コンテンツ基盤共同構築事業に採択されました

本学は、国立情報学研究所(NII)公募事業「平成18年度次世代学術コンテンツ基盤共同構築事業」に申請しておりましたが、このほど採択されました。この公募は、NIIの最先端学術情報基盤(Cyber Science Infrastructure)の確立を図る諸事業の一環として行われたもので、全国の国公立大学の応募の中から、本学を含む57大学が採択されました。

本学が採択されたテーマは、機関リポジトリ(Institutional Repository)の構築についてです。機関リポジトリとは、大学で生み出されたさまざまな教育研究成果を収集し、蓄積し、配信する仕組みの「機関内の電子書庫」のことです。この機関リポジトリには、研究者にとっては、常に生産している研究成果等を、リポジトリ内の自分の「電子書庫」に蓄積することで生涯の研究成果等の散逸を防ぐことができ、また、大学にとっては、大学全体の研究成果等を内外に発信することで大学の教育研究活動の一端を広くしらせることができるなどの長所をもつ、とても便利なものです。

本学では、この採択を契機に、国際学術情報コミュニケーションの分野の推進にも積極的に取り組んでいく所存です。

(附属図書館学術リポジトリワーキング・グループ)

教養図書コーナー開設5周年記念「読書論文コンクール」 募集テーマ「私が影響を受けた本」

附属図書館では教養図書コーナー開設してから今年で5周年になることから、これを記念して「読書論文コンクール」を実施します。

ただいま応募論文を募集中です。(応募締切2006年10月31日→発表12月5日)



最優秀賞(学長賞) : 欧米往復航空券と滞在費5万円(※)

優秀賞(図書館長賞) : ノートパソコン1台(13万円相当)

優良賞 : 図書カード2万円分(3編)

※ 欧米往復航空券は、沖縄から目的地(1ヶ所)までのエコノミー割引(12万円以内)航空券となります。

本学の学部学生の皆さん、ふるって応募してください。

(応募要領)

- ◇募集テーマ…………… 私が影響を受けた本」とする。大学入学後、知的刺激を受けた本、ものの考え方や人生観に影響を受けた本などの読書体験を中心に書くこと。人文・社会・自然・工学など分野は問いません。対象とする本は、本学附属図書館教養図書コーナーに配架したものを始めとする本学所蔵のものから選ぶこと。
- ◇応募資格…………… 本学に在籍(在学)中の学部学生
- ◇応募方法…………… ①一人1編 ②原稿は、字数8,000字(400字原稿用紙20枚相当)以内、A4版、ヨコ書き、1ページ33字×30行、10ポイントのワープロ文字で印字する。③原稿の最初の余白に「読書論文コンクール応募」と明記してください。④題名を必ずつけてください。⑤原稿の末尾に学部、学科、学年、氏名、住所、電話番号を明記してください。(個人情報は応募に関する連絡以外には使用しません)⑥応募原稿は返却しません。⑦他のコンクール等で受賞した論文は応募できません。
- ◇募集締切日…………… 10月31日(当日消印有効)
- ◇発表…………… 12月5日に図書館掲示板及び図書館ホームページ上に発表します。(予定)
※入賞者の学部・学科・学年・氏名・論文は館報(びぶりお)、図書館HP等で公表することがあります。
- ◇表彰式…………… 12月12日(予定)
- ◇論文送付先及び問い合わせ先
〒903-0214 沖縄県西原町字干原1 琉球大学附属図書館総務係
電話/098-895-8153 fax/098-895-8154 メール/general@lib.u-ryukyu.ac.jp
※ 直接持込み可。メールでの応募はできません。

ILL(学外からの取り寄せ)の依頼方法

1 珞大では所蔵していないが読みたい論文がある！

| | |
|---------------|--|
| 論題 (標題) / 著者名 | 円ドルレートの変動とアジア諸国の為替レート政策 / 熊倉正修 |
| 雑誌名など | 経済学雑誌 ISSN:04516281 |
| | 巻号、発行年、ページ 105(3) 2004.12 p.1-37 |

2 WebatPLUSで学外の所蔵を確認する

| | |
|--|------------------------------|
| 経済学雑誌 大阪商科大学経済研究所. -- 1 巻1 96. (0212.4) <AN00070116> | タイトル 経済学雑誌 [クイザイガクザッシ] |
| 責任表示 | 1 巻1 96. (0212.4)- |
| 巻次・年月次 | 大阪：大阪商科大学経済研究所. 1937- |
| 出版事項 | 冊：21-25cm |
| 形態事項 | 04516281 |
| ISSN | |

3 図書館ホームページの【ILL(貸借・複写)】から依頼

University of the Ryukyus
琉球大学附属図書館
Library on the web
1884981.since 1998.05.13

図書館案内
開館カレンダー | 利用案内 | 蔵書 | ボランティア | 依頼と返却

サービス・申込
調査相談【ILL(貸借・複写)】 図書購入 | 講習会

3 ログインする

★ILLは有料のサービスです。★

特に本そのものを取り寄せる場合(貸借)、1冊につき大体1,200円前後がかかります。複数の本の取り寄せを一度に依頼する場合は、なるべく料金が安くなるよう図書館側で調整します。



5 珞大では所蔵していないが読みたい論文がある！

依頼方法 複写 貸借 →本を借りたときは“貸借”をチェック
 支払区分: 校費 私費 研究所 大学附属病院 産学連携等研究費
 複写種別: 電子複写 マイクロの引き出し マイクロフィルム
 依頼の範囲1: 国内まで 海外まで
 依頼の範囲2: 国立まで 私立まで
 送付方法: 普通郵便 FAX 速達
 資料種別: 図書 雑誌

雑誌ID(NC ID): AN00070116 } WebatPLUSにない雑誌、
 ISBN / ISSN: 04516281 } ISSNがない雑誌の場合は空白で構いません

書(誌)名: 経済学雑誌
雑誌名は必須です

図書の著者名: _____
 巻号: 105(3)
 ページ: 1-37
 年次: 2004.12

論文の著者: 熊倉正修 / 円ドルレートの変動とアジア諸国の為替レート
 及び標題: 政策
 コメント: _____

書誌典拠: 引用文献より 情報文献より(情報文献の場合は以下も入力)
 NACSIS-IR JOIS DIALOG UNCOVER
 その他 [mazarineplus]

所蔵典拠: WEBCAT OPAC その他

送信 クリア Clear

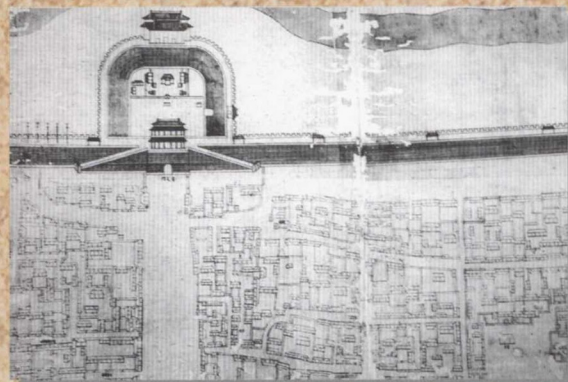
→資料が届き次第メールでお知らせしますので、代金を用意して
 カウンターまでお越しください。

2005年度新収蔵沖縄関係資料の紹介

- 1 「中山王尚敬花押印状」
薩摩藩へ宛てた18世紀半ばの原本書状。
- 2 「沖縄集」明治3年、宜湾朝保(弘齋堂版)
沖縄三十六歌仙の秀歌をのせた沖縄最初の和歌集の刊行本。編者は宜湾朝保。
- 3 「南浦文集」全3集 慶安2年刊
中野道伴によって刊行された南浦文之の詩文集。
- 4 「椿説弓張月」
曲亭馬琴作、葛飾北斎画の読本。前編6冊・後編6冊・続編6冊・拾遺6冊・残編6冊の全30冊九州平定・伊豆七島統治から琉球渡りまでを描いた源為朝一代の武勇伝。
- 5 「東亜三国図」
中国沿岸部、朝鮮、日本の三国図で琉球・蝦夷を含む国図絵。
- 6 「旧伝集」
種子島氏の資料、琉球関係記事が多く含まれている。
- 7 「林政八書」
王府時代の林政に関わる資料。蔡温の三司官時代(1737～51)に公布された七つの森林法令と、1869年(明治2)に示達された森林関係の訓令を加えたもの。
- 8 「大日本壽海全図」
日本全国の海図であるが沖縄も含む港湾情報が多く描かれている。
- 9 「糸竹大全」
大和三味線の記述が多いが、琉球三味線についても起源伝来や琉球組といった三味線の弾き語り記されている。
- 10 「清宮内務府造鞭処档案総覧」
雍正、乾隆両朝(1723年～1796年)における中国の宮廷の管理機関である内務府に関する歴史文書で、琉球王国からの進貢品の取扱いや中国皇帝から琉球国王に下賜品の作成における材料、費用、工程や職人管理など、中国と琉球の宗藩礼儀に関わる多くの歴史資料が含まれる貴重な資料。北京の紫禁城(宮殿)に収蔵されていた琉球王国と中国との進貢関係や冊封関係を知る上で貴重な一次資料である。
- 11 「乾隆京城全図」
清代乾隆年間(1736～1795)における北京城の詳細な地図で、琉球王国が派遣した進貢使節の北京における足跡を確認できる重要な古地図。進貢使節の動向のみならず、清代中国に派遣された琉球王国の留学生の足跡を確認する意味でも重要である。



△乾隆京城全図(表)



△乾隆京城全図(内容)

図書館所蔵貴重資料の紹介

シリーズ1

県指定有形文化財（指定日：昭和33年1月17日）

「屋嘉比工工四」 やかびクンクンシー 41枚 27×20.5 cm 縦×横

屋嘉比朝奇(1716-1775)は、玉川按司朝雄の四男として生れた(「銘々略伝」)。唐名は向全謨(しょうぜんも)、位は親雲上(ペーチン)。屋嘉比朝奇は、性来音楽の才に秀で、青年の頃、上意により薩摩に遊学して謡曲や、仕舞を習得した。帰国後は専ら謡曲の師として王家に仕え、謡曲と舞踊の普及につとめていたが、重い眼病を患って盲目となった。その後、琉球古典音楽の祖と云われる湛水親方より四代目の照喜名聞覚(聞覚流)の弟子となり、聞覚から三弦を学び謡曲や、日本俗曲を採り入れ、従来の歌唱法に改良を加えて新しい楽風をうちたてるとともに中国の記譜法を参考に、独特の符号(漢字)によって三味線のツボ(音階)を示す記譜法を編み出し、琉球譜を創案した。この「工工四」(編纂年不詳)には117曲が納められており、琉球古典音楽の推移を知る上で貴重な資料である。三味線の旋律符号を列記したそばに歌詞をカタカナで付記し、三味線を伴奏にして弾き歌いできるような方法がとられている。旋律符号を順次書き並べただけで、拍子や拍節の区別ができず、覚書程度のものであることから「書き流し工工四」ともいわれている。しかし、その当時、楽譜もなく、口から耳へと覚え継がれるだけで、忘失したり誤伝されたりすることが危惧されていた当時の琉球音楽界にあって、屋嘉比による工工四の編纂は特筆すべき業績である。原本は真境名安興所蔵であったが、伊波普猷に移り、1955年(昭和30年)11月、琉球大学附属図書館に移管(伊波普猷文庫)される。

※なお、本資料は、1958年1月17日、琉球政府により重要文化財に指定され、本土復帰後、沖縄県により改めて琉球政府指定時に遡り、県の有形文化財として指定されたものである。

〔参考文献〕

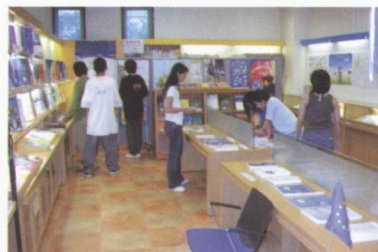
『沖縄の有形文化財Ⅲ 有形文化財編』沖縄県教育委員会, 1995, p.45

渡久地政一「屋嘉比工工四」『屋嘉比朝奇』『沖縄大百科事典 下』沖縄タイムス社, 1983, p.715



図書館トピックス

○日・EUフレンドシップウィークの期間中の5月15日(月)から5月26日(金)、本学附属図書館2階情報ラウンジにおいて駐日欧州委員会代表部が主催する日本と欧州連合の友好週間イベントの一環として資料展「資料で学ぶEU展」を開催しました。期間中は延べ400人余りの入場者がありました。



○9月6日(水)から9日(金)の間、図書館では国立情報学研究所と琉球大学附属図書館との共催による「平成18年度目録システム講習会(図書コース)」が、総合情報処理センターにおいて開催されました。この講習会には、琉球大学のほかに県内外の公立大学9大学から30名が参加し、講師の説明に熱心に耳をかたむけていました。



図書館見学者

平成18年4月1日～9月30日

| 日時 | 見学者 |
|----------|------------------------------|
| 6月19日(月) | 琉球大学・シニア短期留学 参加者 一行 |
| 6月28日(水) | 岡山県立倉敷古城池高等学校生徒 97名 |
| 7月28日(金) | 本部町 町内各小・中・高校の図書委員と図書館司書 26名 |
| 9月1日(金) | 琉球大学附属中学校1年 50名 |
| 9月8日(金) | 引率教員2名 教育実習生(調べ学習) |
| 9月15日(金) | 延べ 150名 |



琉球大学附属中学校1年(調べ学習)

貴重書展開催

琉球大学附属図書館貴重書展

「琉球・沖縄の歴史と文化を探る」

日時：2006年10月27日(金)～11月2日(木)
平日：AM9:00～PM8:00(土・日はPM5:00まで)
但し30日(月)は休館

場所：北谷町立図書館 北谷町桑江 467-1
(ちゃたんニライセンター内)
TEL 098-936-3542

※入場料無料ですので多くの方のお越しをお待ちしております。

当館資料の放送取材 刊行物掲載

| 放送・発行日 | 番組名・書名 | 提供資料 |
|-----------|--|--|
| 6月24日(土) | テレビ東京系列番組 「美の巨人たち」 葛飾北斎 琉球八景 | 「琉球人国誌略」 「琉球人來朝之図」 「琉球人行列図錦絵」 「琉球国來聘記」 「琉球人行列附」 |
| 7月21日(水) | 中京テレビ番組 河合サテライト講座 テーマ日本史 | 「琉球人行列図錦絵」 |
| 8月30日(水) | 岩波書店 発刊 立命館大学国際平和 ミュージアム監修 石原昌家編 「岩波DVDブック Peace Archives オキナワ 沖縄戦と米軍基地から 平和を考える」 | ブール文庫 ガラス版写真 ① No.4 Middle class Loo Chooan family (琉球の中流家庭) ② No.26 Tatoon-marks on the hands of Loo Chooan Women (琉球女性の手の刺青) ③ Castle of the Loo Choo an king (琉球国王の城) ④ Entrance gate, Shuri when Perry arrived (ペリー来航時の首 里入口の門) |
| 10月20日(金) | 吉川弘文館 発刊 「近世地域論フォーラム1」 列島史の南と北 | 宮良殿内文庫 「難船唐人の報告書」 |

お知らせ Information

2006年度 開館カレンダー

本館

10月 (2006年)

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|----|----|----|----|----|----|----|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 |
| 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 |
| 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 |
| 29 | 30 | 31 | | | | |

11月 (2006年)

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|----|----|----|----|----|----|----|
| | | | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 |
| 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 |
| 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 |
| 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | | |

12月 (2006年)

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|----|----|----|----|----|----|----|
| | | | | | 1 | 2 |
| 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 |
| 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 |
| 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 |
| 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 |
| 31 | | | | | | |

1月 (2007年)

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|----|----|----|----|----|----|----|
| | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 |
| 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 |
| 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 |
| 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | | |

2月 (2007年)

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|----|----|----|----|----|----|----|
| | | | | 1 | 2 | 3 |
| 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 |
| 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 |
| 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 |
| 25 | 26 | 27 | 28 | | | |

3月 (2007年)

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|----|----|----|----|----|----|----|
| | | | | 1 | 2 | 3 |
| 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 |
| 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 |
| 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 |
| 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 |

医分館

10月 (2006年)

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|----|----|----|----|----|----|----|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 |
| 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 |
| 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 |
| 29 | 30 | 31 | | | | |

11月 (2006年)

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|----|----|----|----|----|----|----|
| | | | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 |
| 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 |
| 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 |
| 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | | |

12月 (2006年)

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|----|----|----|----|----|----|----|
| | | | | | 1 | 2 |
| 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 |
| 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 |
| 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 |
| 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 |
| 31 | | | | | | |

1月 (2007年)

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|----|----|----|----|----|----|----|
| | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 |
| 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 |
| 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 |
| 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | | |

2月 (2007年)

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|----|----|----|----|----|----|----|
| | | | | 1 | 2 | 3 |
| 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 |
| 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 |
| 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 |
| 25 | 26 | 27 | 28 | | | |

3月 (2007年)

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|----|----|----|----|----|----|----|
| | | | | 1 | 2 | 3 |
| 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 |
| 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 |
| 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 |
| 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 |

開館時間 黒 (Black) 8:30~22:00 緑 (Green) 10:00~20:00 青 (Blue) 8:30~17:00 赤 (Red) 休館 (Close)

本館だより

第251回 平成18年3月27日

附属図書館運営委員会録

○協議事項

1. 平成18年度琉球大学附属図書館研究開発室員について

○報告事項

1. 延世大学との図書館間交流について
2. 教養図書コーナー設置5周年記念小論文コンテスト(仮称)について

本館だより

第252回 平成18年6月22日

附属図書館運営委員会録

○協議事項

1. 琉球大学附属図書館平成17年度決算について
2. 琉球大学附属図書館平成18年度予算について
3. 延世大学中央図書館との国際交流協定の締結について
4. 琉球大学附属図書館研究開発室員の交代について

○報告事項

1. 平成19年度概算要求事項について
2. 次世代学術コンテンツ基盤共同構築事業の委託事業について
3. 読書論文コンクールについて

医分館だより

第59回 平成18年7月3日

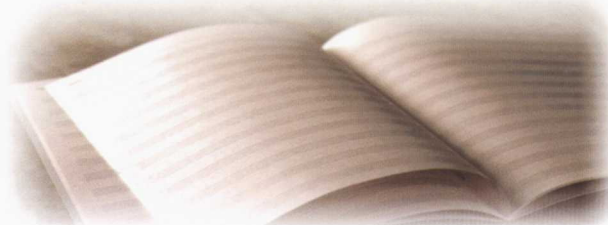
医学部分館運営委員会録

○協議事項

1. 平成18年度(第1回)図書館備付け学生用図書を選択について
2. 除籍予定図書について

○報告事項

1. 平成19(2007)年度学術情報基盤雑誌の購読希望等調査について
2. 図書書架の狭隘解消について



琉球大学附属図書館報「びぶりお」第39巻第2号(通巻第145号) 発行日:2006年(平成18年)10月1日
発行:琉球大学附属図書館 編集:びぶりお編集委員会

〒903-0214 沖縄県中頭郡西原町字千原1番地 TEL:098-895-8168 E-mail:referen@lib.u-ryukyu.ac.jp